



## 今月の表紙

今年も卒業シーズンを迎え、町内の小中高生たちが学び舎を巣立ちました（写真：只見中学校）。新型コロナウイルス感染症対策のため、式歌の斉唱は行われませんでした。在校生や先生方に見送られ、笑顔の卒業式となりました。

ご卒業された皆さん、本当におめでとうございます。これまでの思い出を胸に、新生活も頑張ってください。

（関連記事：P 4～5）

### 《特集》

令和3年度当初予算	2～3
卒業式・満了式	4～5
ミニ雪像フォトコンテスト結果発表	6～7
小学校在り方検討懇談会報告	8～9
「自然首都・只見」学術成果発表会	10～13
《News&flash》	14
《青少年健全育成主張》	15～17
《町の話》	18～19



# これが只見町の予算です

## ◆令和3年度只見町予算

令和3年度予算は、第七次只見町振興計画に示した町づくりの理念、基本的施策に基づき、地域の社会経済的な発展を目指し、各種事業へ取り組んでいくための編成となっております。

一般会計の予算規模は52億9,000万円となり、前年度対比1,700万円、0.3%の増となっております。また、各特別会計の合計額は26億4,490万円となっており、一般会計と合わせた令和3年度予算総額は79億3,490万円です。

## ◆一般会計 歳入

歳入は、「依存財源」(国や県から入るお金)が72.1%を占め、その中でも地方交付税の割合が最も高く、歳入全体の47.0%を占めています。

また、「自主財源」(町が独自に確保できるお金)では、町税が歳入全体の15.0%で、前年度に比べて5,740万円の減額となっております。町債は歳入全体の13.5%で、前年度に比べて9,600万円の減額となっております。

## ◆一般会計 歳出

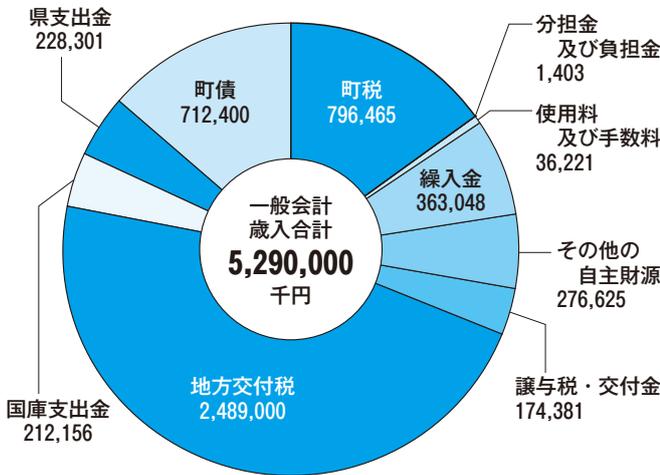
歳出は、総務費の占める割合が昨年比18.3ポイント増の18.3%となっております。これは、ふるさと市町村圏基金出資金等の返還金1億4,519万円を地域振興基金へ積み立てるためです。

次に、民生費の占める割合が15.3%となっております。主に後期高齢者医療、介護保険、児童福祉、障がい者福祉などの安定した社会生活を保障するための経費です。

次に、教育費の占める割合が14.7%となっております。主にユニネスコスクールの推進、只見高校振興対策、学校施設の修繕、こども教室の運営、ただみ・モノとくらしのミュージアム開館準備、町下野球場の改修工事、学校給食費の無償化などを行うための経費です。続いて、公債費、土木費、農林水産業費、衛生費、土工費、消防費、議会費の順になっていきます。

土木費では、克雪対策事業、除雪機械の整備、町道改良工事、集会施設の整備などを行うため、農林水産業費では、鳥獣被害防止対策、農業振興事業などを行うための経費です。

# 9,000万円



## ■町税の内訳

町民税	1億3,988万4千円
固定資産税	6億1,944万7千円
軽自動車税	1,403万5千円
町たばこ税	2,099万9千円
入湯税	210万円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口) …… 4,120人

■一般会計支出額(使われるお金の額) …… 1,283,981円

■町税負担額(納めていただくお金の額) …… 193,317円

## ■歳入

(単位:千円)

項目	3年度	構成比	2年度	増減率
町税	796,465	15.0%	853,865	-6.7%
地方譲与税	47,956	0.9%	61,744	-22.3%
利子割交付金	260	0.0%	500	-48.0%
配当割交付金	1,000	0.0%	800	25.0%
株式等譲渡所得割交付金	500	0.0%	440	13.6%
地方消費税交付金	99,000	1.9%	96,000	3.1%
自動車取得税交付金	1	0.0%	0	-
環境性能割交付金	4,500	0.1%	4,400	2.3%
法人事業税交付金	3,400	0.1%	1	339900.0%
地方特例交付金	17,164	0.3%	1,860	822.8%
地方交付税	2,489,000	47.0%	2,394,100	4.0%
交通安全対策特別交付金	600	0.0%	590	1.7%
分担金及び負担金	1,403	0.0%	12,318	-88.6%
使用料及び手数料	36,221	0.7%	37,724	-4.0%
国庫支出金	212,156	4.0%	196,250	8.1%
県支出金	228,301	4.3%	322,818	-29.3%
財産収入	163,100	3.1%	18,406	786.1%
寄付金	15,001	0.3%	11,001	36.4%
繰入金	363,048	6.9%	373,028	-2.7%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	98,523	1.9%	78,754	25.1%
町債	712,400	13.5%	808,400	-11.9%
<b>歳入合計</b>	<b>5,290,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,273,000</b>	<b>0.3%</b>

## ■歳出

(単位:千円)

項目	3年度	構成比	2年度	増減率
議会費	73,321	1.4%	75,158	-2.4%
総務費	969,341	18.3%	819,059	18.3%
民生費	807,733	15.3%	775,129	4.2%
衛生費	360,684	6.8%	337,791	6.8%
労働費	197	0.0%	197	0.0%
農林水産業費	495,691	9.4%	545,549	-9.1%
土工費	302,352	5.7%	308,741	-2.1%
土木費	585,460	11.1%	571,584	2.4%
消防費	248,306	4.7%	303,987	-18.3%
教育費	778,687	14.7%	912,397	-14.7%
災害復旧費	17,997	0.3%	71,090	-74.7%
公債費	619,461	11.7%	522,606	18.5%
予備費	30,770	0.6%	29,712	3.6%
<b>歳出合計</b>	<b>5,290,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,273,000</b>	<b>0.3%</b>

# 令和3年度の主な事業

## ■自然と共生するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
  - 3,505万円 ブナセンター関連事業
  - 1,811万円 ユネスコエコパーク推進関連事業
- 雪と共存するまちづくり
  - 4,598万円 除雪機械更新事業
  - 1,900万円 高齢者等除雪支援事業
  - 1,000万円 克雪対策事業補助金
- 道路網の整備と定住環境の整備
  - 5,595万円 町営住宅長寿命化事業
  - 3,151万円 道路新設改良事業
  - 1,607万円 空家利活用対策事業
- 水環境の保全と上下水道の整備
  - 3,780万円 集落排水施設機能強化事業
  - 2,973万円 只見統合簡易水道整備事業

## ■文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり

- 将来の只見を担う子どもたちの教育の充実
  - 9,543万円 只見高等学校振興対策事業
  - 5,977万円 スクールバス運行関連事業
  - 1,532万円 学校給食費負担軽減事業
- 家庭教育力・地域教育力の向上
  - 1,887万円 放課後児童対策関連事業
- 地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）
  - 17,832万円 ただみ・モノとくらしのミュージアム関連事業
  - 811万円 八十里越調査事業
- 生涯スポーツ・レクリエーションの推進
  - 6,827万円 町下野球場改修事業

## ■住民が主役のまちづくり

- 集落・振興センターでの住民交流を主体とした地域づくり
  - 2,753万円 集会施設整備事業
  - 920万円 集落運営支援交付金
  - 900万円 自然首都只見地域づくり推進交付金
- 新たな視点による地域づくり
  - 1,365万円 移住定住促進事業
- 総合的な土地利用・公共交通体系の確立
  - 3,700万円 地域公共交通運行事業
  - 1,850万円 只見線観光路線化モデル事業

## ■住みやすいまちづくり

- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
  - 2,354万円 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
  - 1,430万円 子ども医療費無料化事業
  - 390万円 子宝祝い金事業
- 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり
  - 160万円 シルバー人材センター推進事業
- 安心して暮らせるまちづくり
  - 636万円 消防団機材等整備事業
  - 330万円 消火栓等新設改良事業

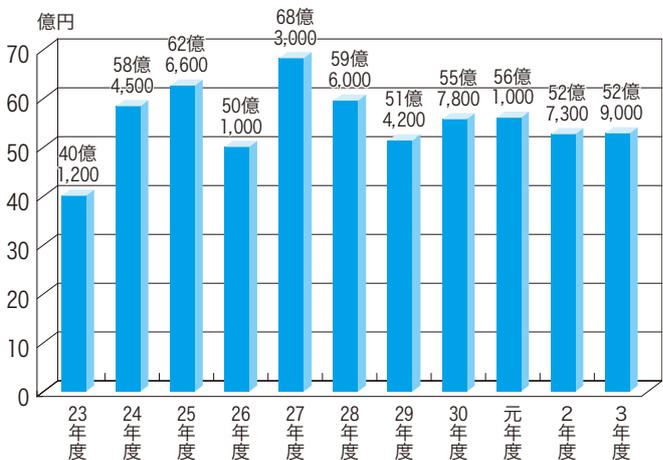
## ■働きがいのあるまちづくり

- 受け継ぎ託す、プライド農業の実践
  - 5,257万円 農業振興関連事業
  - 1,664万円 鳥獣被害対策事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
  - 2,150万円 林業振興関連事業
  - 1,400万円 林道改良事業
- 活力と賑わいそして持続ある商工業の確立
  - 1,740万円 プレミアム商品券発行事業
- 地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進
  - 1,800万円 雪まつり実行委員会補助金
  - 1,621万円 観光まちづくり協会補助金
- 産業間連携による地域経済の発展
  - 1,500万円 特定地域づくり事業協同組合補助金

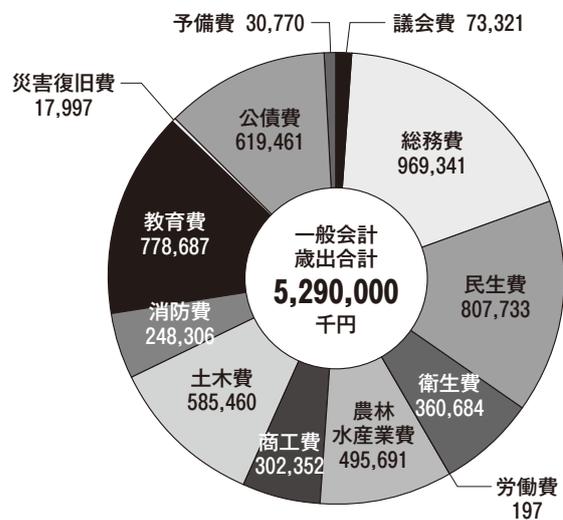
お金はどこから来て、どこへ行くの？

## ■一般会計当初予算額の推移

(単位：万円)



# 一般会計 予算総額 52億



## ■特別会計予算

(単位：千円)

会計区分	3年度	2年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	508,000	512,000	-0.8%
国民健康保険施設特別会計	427,000	390,000	9.5%
後期高齢者医療特別会計	159,000	155,000	2.6%
介護保険事業特別会計	789,000	756,000	4.4%
介護老人保健施設特別会計	307,000	289,000	6.2%
地域包括支援センター特別会計	13,600	12,000	13.3%
簡易水道特別会計	153,000	200,000	-23.5%
集落排水事業特別会計	268,000	317,000	-15.5%
朝日財産区特別会計	20,300	13,400	51.5%
合計	2,644,900	2,644,400	0.0%

# 只見高校卒業式

県立只見高校の卒業式が3月1日に行われ、38名（内、山村教育留学生11人）が卒業しました。式では、伊藤校長から目黒楓華さんへ卒業証書が手渡された後、在校生代表の酒井香苗さんが送辞を述べました。卒業生代表の堀金楓樺さんが「このメンバーで喜怒哀楽を共有出来てよかったです。ありがとう」と声を詰まらせながら答辞を述べると、卒業生は涙を浮かべながら言葉を噛みしめました。



▲卒業証書を受け取る目黒さん

▶感謝の答辞を述べる堀金さん



▶答辞に涙ぐむ生徒



# 沢山の思い出と感謝の心を胸に学び舎を巣立つ

3月、町内の高校・中学校・各小学校の卒業式と各保育所の満了式が行われました。新型コロナウイルス感染防止のため、在校生のリモート参加や式歌斉唱をしないこと、マスク着用といった対応が取られた中、子どもたちは家族や先生、お世話になった人に感謝の想いを伝え、学び舎そして仲間と別れを告げました。

※小学校と保育所は、3ヶ所を順番に（1年に1ヶ所）取材させていただいています。

# 只見中学校卒業式

只見中学校の卒業式が3月12日に行われ、27名が中学校生活に別れを告げました。式では、横山校長から卒業生全員に卒業証書が手渡された後、在校生代表の酒井駿さん（2年）が「先輩方の姿から、自分に負けない強い意志の持ち方を学びました」と送辞を送り、卒業生代表の菊地新大さんが「この校舎でのたくさんの思い出が一生の宝物です」と答辞を述べました。



▲一人一人手渡された卒業証書

▶答辞を述べる菊地さん



▶目に涙を堪えながら、拍手の中退場する卒業生





▶家族に感謝の花束を贈る児童

## 三小学校卒業式

町内三小学校の卒業式が3月23日に行われ、只見小10人・朝日小12人・明和小12人が卒業しました。

朝日小学校では、卒業生全員が米畑校長から卒業証書を受け取った後、中学生になったら頑張りたいことを発表しました。また、コロナウイルス感染防止のために一人ずつ撮影した別れの言葉がスクリーンに映されると児童たちは目に涙を浮かべていました。



▲卒業証書を受け取り、中学校での目標を発表する児童



▲卒業の日を迎えた朝日小の6年生12人



# 令和2年度 卒業式・満了式

## 三保育所満了式

町内各保育所の満了式が3月25日に行われ、只見保育所6名・朝日保育所7名・明和保育所6名の園児がそれぞれ満了となりました。

明和保育所では、証書を受け取った園児たちが保護者に向けて「いつも一緒に遊んでくれてありがとう！」などと感謝の想いを伝えました。最後は、花束を手に堂々と退場し、保護者の皆さんが子どもたちの成長を肌で感じる満了式となりました。



▲最後は花束を持って堂々と退場しました



▶両親に感謝の想いを伝える園児



▶明和保育所を卒園する6人の園児たち

# 2021ミニ雪像フォトコンテスト

## 入賞作品のご紹介

応募総数は39点!  
(内1点オープン参加)  
たくさんのご応募  
ありがとうございました!



「朝保牧場(親牛)」 只見町立朝日保育所B(黒谷)



「赤べこ」  
吉津明さん(長浜)



「心を燃やせ」  
吉津風花さん(長浜)



「キングスラウシ」  
小沼瑞輝さん(福井)



「ミニオンズ大集合!」  
只見町立明和保育所(小林)



「祈願コロナ終息『白べこ』」  
只見郵便局(只見)



「鬼滅の刃(コロナを退治するぞ)」  
三瓶たづ子さん(大倉)



「コロナ終息祈願!雪べこ!」  
馬場都美さん(梁取)



「干支2021(丑)」  
長谷川秋子さん(坂田)



「フグとゴミ」  
只見中2年1組 海洋清掃プロジェクト班(黒谷)



「起き上がり小法師」  
明和小学校Bチーム(小林)



「コロナ終息祈願!だるまさん!」  
馬場千歳さん(梁取)



「トトロ3兄弟」  
朝日小学校(黒谷)



「頑張れ我らの未来をのせて 走れ只見線」  
角田杏さん(坂田)



「福よぶ小法師」  
栗城勝子さん(只見)



「バイバイ!殿!!」  
馬場克夫さん(梁取)



「招き猫」  
船木純子さん(黒谷)

今年の雪まつりは新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、只見町の冬を楽しく過ごすため、また来年の雪まつり開催に向け町内を盛り上げるために、2021ミニ雪像フォトコンテストが開催し、多くの力作が揃いました。

審査会では渡部勇夫実行委員会会長より、「新型コロナの影響で雪まつりが開催できない中、たくさんの作品が揃いました。今年開催できなかった分もあわせて、来年の雪まつりに向けて華を添えてくださった参加者に感謝します」とあいさつがありました。

なお、審査の結果、同点作品がありましたので入賞作品数を10点から11点としました。

# 町立小学校の在り方検討懇談会 報告書が提出されました



只見町立小学校の在り方検討懇談会委員長の鈴木厚さんが、3月1日に渡部町長へ報告書を提出しました。  
懇談会は、次世代の地域を担う児童の教育・小学校の現況について再確認し、それらを踏まえてこれからの小学校の在り方について検討するもので、只見町教育委員会が15名の委員を委嘱し、昨年10月から2月までの計4回（※資料1）開催しました。

## 只見町における出生数とアンケート結果

只見町の児童数は、これまでの出生数から、激減することなく現在の人数を維持することが予測されています（※資料2）。また、昨年8月に実施した保護者アンケートでは、「今後の状況によっては統合すべきであるが、今の時点では統合しなくてよい」という現状維持をのぞむ回答が8割となりました（※資料3）。

これらのことを踏まえ、  
①授業や行事等の教育効果  
②地域とのふれ合い・連携  
③校舎などの学校施設全般  
④通学距離や手段  
⑤その他（PTA活動、スポーツ少年団、放課後子どもクラブなど）  
の視点から話し合いが進められました。

## 小学校は各地区のシンボリック的存在

懇談会では、「中学校のように一つに統合することはできるかもしれないが、

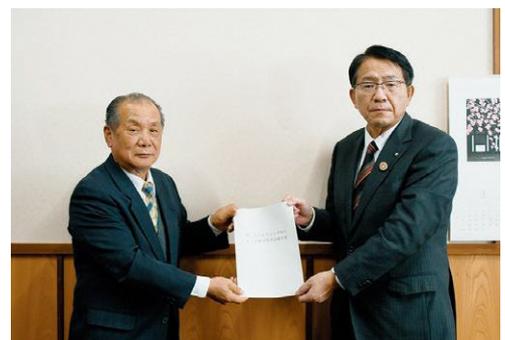
只見町で小学校を一つにするというメリットがあまり見つかからない」「地域活性化の中心となつていく小学校が地区に無くなることは、各地区の衰退にもつながるのではないだろうか」などの意見が出ました。

また各小学校では、住民が参加・観覧できる運動会や学習発表会などが行われ、地域を活気づけているシンボリック存在となつており、地域の中でも重要な役割を担っています。

通学距離やスクールバスによる長時間通学の問題も大きいことが確認され、小学生にとつて身近な地域に育まれることの大切さを改めて確認しました。

## 統合はせずに切磋琢磨できる場を工夫

懇談会の意見として、今後数年間は統合せずに、現在の少人数教育の良さを最大限に活かすため、次の2点を町長へ報告しました。  
①個に応じた指導により、不登校やいじめなどの防



止、児童一人一人が切磋琢磨する機会を増やし、活躍できる場の確保を行っていくこと。

②町内小学校の横のつながりを大切にし、ICTを活用した他校とのオンライン授業を行うといった繋がりをもった学習展開を工夫していくこと。

代わりに「児童数の推移をみて、保護者や町民の声を聴きながら、只見町としての小学校の在り方を今後検討する場を設けていく必要があります」と伝え、第2次只見町立小学校在り方検討懇談会の報告としました。

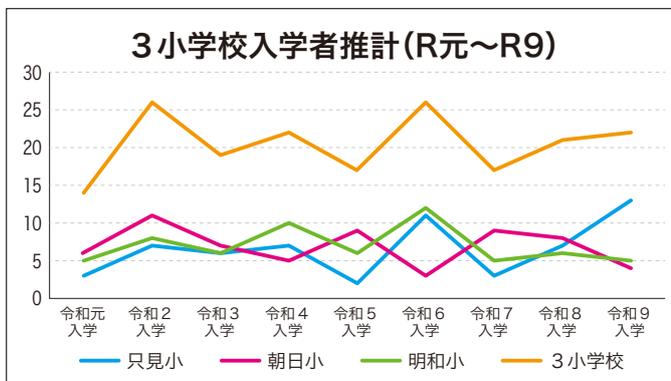
## 資料1 第2次只見町立小学校の在り方検討懇談会の検討経過

	日 時	会 場	内 容
第1回	令和2年10月6日(火) 午後6時半～午後8時	朝日振興センター 2階ホール	1 委員長、副委員長の選出について 2 第2次在り方検討懇談会について 3 只見町立小学校の現状と保護者アンケート結果について 4 意見交換
第2回	令和2年11月10日(火) 午後6時半～午後8時	朝日振興センター 2階ホール	1 スケジュール案の見直しについて 2 通学条件の確認 3 少人数教育の取組について（各小学校の現状） 4 意見交換
第3回	令和2年12月21日(月) 午後6時～午後7時半	只見振興センター 2階学習室	1 本日の進め方の確認 2 グループ協議 3 グループごとの発表 4 質疑応答、意見交換
第4回	令和3年2月1日(月)に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、紙面会議に変更		1 検討懇談会報告書(案)について 2 電話、メール、紙面等で意見を回収

## 資料2 只見町3小学校入学者数推計

令和3年3月現在

	平成28 入学	平成29 入学	平成30 入学	令和元 入学	令和2 入学	令和3 入学	令和4 入学	令和5 入学	令和6 入学	令和7 入学	令和8 入学	令和9 入学
現年齢 R3学年	12歳 小6	11歳 小5	10歳 小4	9歳 小3	8歳 小2	7歳 小1	6歳 年長	5歳 年中	4歳 年少	3歳	2歳	1歳
只見小	11	5	11	3	7	6	7	2	11	3	7	13
朝日小	6	3	7	6	11	7	5	9	3	9	8	4
明和小	9	12	8	5	8	6	10	6	12	5	6	5
3小学校	26	20	26	14	26	19	22	17	26	17	21	22



## 令和2年度 只見町立小学校の在り方検討懇談会委員名簿

(順不同・敬称略)

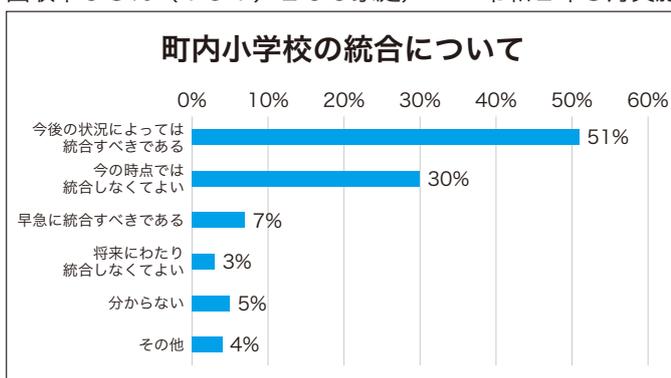
	所 属	役職	氏 名	備考
1	只見小学校PTA	会 長	矢沢 悟	
2	朝日小学校PTA	会 長	齋藤 聡	
3	明和小学校PTA	会 長	梁取 茂弘	
4	只見中学校PTA	会 長	梁取 宏	
5	只見中学校PTA	副会長	酒井 文高	
6	只見保育所保護者会	会 長	菅家 大和	
7	朝日保育所保護者会	会 長	梁取 麻緒	
8	明和保育所保護者会	会 長	角田 一恵	
9	只見地区区長連絡会	会 長	鈴木 厚	委員長
10	朝日地区区長連絡会	会 長	原田 岩夫	
11	明和地区区長連絡協議会	会 長	飯塚 勇	
12	只見小学校	校 長	伊藤 知雄	
13	朝日小学校	校 長	米畑 健一	
14	明和小学校	校 長	菅家 崇	
15	只見中学校	校 長	横山 泰久	副委員長

## 資料3

### 小学校の在り方アンケート集計結果

(保育所、小学校、中学校の保護者対象)

回収率93% (191/206家庭) 令和2年8月実施



# 「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会を開催しました

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、ユネスコエコパークに登録された只見町の自然環境・生物多様性や民俗・歴史の調査研究に取り組む研究者等に町が助成を行い、それらの科学的評価を行うとともに、只見町の新たな価値の発見、各研究機関との交流の推進、研究成果の活用を図ることを目的とした事業です。例年、只見町を会場に助成研究者の調査研究の成果発表会を開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、発表動画の視聴による開催とし、6名の助成研究者から成果発表がありました。発表動画は2月13日から3月31日までブナセンターホームページなどで公開され、総再生数はおよそ480回、一つの発表あたりの平均再生数は80回を上りました。各助成研究者は、新型コロナウイルスの影響のもとで工夫をこらし、町民の方の協力を得ながら調査研究を実施し、只見町の新たな知見を報告されました。次ページより各調査研究の概要をご紹介します。

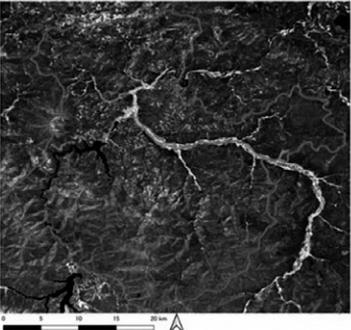


▲感染防止のための動画視聴による発表会



▲野外調査の様子

### 現地調査



- ・調査地  
只見町および只見BR周辺
- ・調査日  
2020年7月8～11日  
雨、晴れ/曇り
- ・方法  
踏査

凡例  
Sentinel-2/MSI (7月モザイクTrue)  
— Tadami BR Area  
— 調査経路20200709  
— 調査経路20200710

27

▲発表動画



▲町民への聞き取り調査の様子

# 只見町木ノ根沢における ゼンマイの分布と個体群構造

横浜国立大学都市科学部環境リスク共生学科 武藤 実緒さん



## 調査の目的・方法

ゼンマイは日本海側豪雪地帯での生産が盛んな山菜のひとつで、地域文化の一部あるいは現金収入源として大きな役割を担ってきた。しかし近年の収穫活動の減少によりゼンマイ生育地の情報等が失われつつあり、生態系サービスの維持が危ぶまれる。本研究では天然ゼンマイの産地である叶津川支流木ノ根沢において、広域および微小スケールでのゼンマイの分布と個体群のサイズ構造を調査した。

木ノ根沢流路沿いおよび木ノ根沢集水域の上部谷壁斜面を通る八十里越で広域分布調査を行った。また、下流域において、ゼンマイの被度（地表を覆っている割合）と斜面傾斜を記録した。さらに、下流域においてゼンマイが密に生育している21ヶ所を選び、ゼンマイの株あたりの栄養葉と孢子葉の数を記録した。また調査箇所ごとにゼンマイ葉群の直上で光環境（相対照度）を測定した。

## 結果・考察

広域分布調査において、ゼンマイの被度は流路沿いでより高かった。また上流域より下流域で、斜面上部より斜面上部で被度・出現頻度ともに高かった。また傾斜角が大きく比高が高いほど被度が高かった。一方、下流域での分布を解析した場合、広域分布調査と同様に比高が高いほど被度も高くなる傾向にあったが、傾斜角とは相関がみられなかった。孢子葉の数は栄養葉の数と正の相関があり、5本以上の栄養葉をつける個体で孢子葉を持つ割合が50%を超えた。また、調査区画内の相対照度が大きいほど栄養葉の平均葉面積は小さくなった。

ゼンマイのようなシダ植物は、受精の際に水を必要とするため、適湿な環境に生育しやすい。しかし本研究において、一般に適湿とされる斜面下部よりもやや上部に多く生育していた。これは、斜面上部の方が沢の流れによる浸食が起こらず、地形が安定しているためと考えられる。また、明るい場所で小さい葉が多い理由は、葉面積を大きくして光獲得をする必要がないため、もしくは日射量が多く乾燥した環境下では成長量が少なくなるためではないかと考えられる。



# 桑葉及びフキの調理加熱による 機能性の変動と今後の活用

茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科 目黒 周作さん

## 調査の目的・方法

近年、肥満などの生活習慣病が社会的な問題となっている。食後血糖値の急激な上昇の抑制は、糖尿病の予防に重要であるとされており、糖質消化酵素阻害作用を有する食品などに注目が集まっている。桑には糖質消化酵素 $\alpha$ -グルコシダーゼに対する阻害活性能があることが知られている。また、フキも比較的高い $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性を有することが確認されており、それらの活用に期待がされる。一方、その活用方法については知見が不足している。そこで本調査では、特に只見町産の桑及びフキについて、加熱調理加工により機能性がどのように変動するのか検討することを目的とした。

桑葉抽出液及びフキ抽出液を110~190℃で加熱し、血糖値上昇抑制物質1-DNJの含有量の測定および $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性試験に用いた。また、フキの葉身及び葉柄を調理し、その後、凍結乾燥させ、ミルサーにて粉末化し各試験に供した。

## 結果・考察

桑葉抽出液を高温加熱した結果、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性や1-DNJ含量は大きく変化しなかった。桑葉入りクッキーから抽出した試料液には高い阻害活性が認められた。フキの葉身及び葉柄どちらも加熱調理をした方が、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性が高くなる結果が得られた。また、各加熱調理によって総ポリフェノール量の大きな変動は見られなかった。フキ抽出液を高温加熱した結果、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性は加熱温度が上がるにつれて上昇した。

本調査により、機能性を有する植物資源が示され、更に加熱調理加工に適していることが明らかにされた。

# クロサンショウウオ幼生の 大顎化発現に関わる環境及び遺伝的要因

新潟大学農学部 村上 貴俊さん



## 調査の目的・方法

エゾサンショウウオ幼生は、共食いが起こりやすい環境において顎の幅を大きくすることが知られている。この現象を大顎化<sup>あご</sup>と言い、通常より大きな獲物を捕食できるようになることで、他種の捕食や共食いに有利となる。この大顎化は、クロサンショウウオ幼生においても発現するが、その要因は明らかになっていない。そこで本研究では、クロサンショウウオ幼生の大顎化発現について、血縁関係および幼生の体サイズの違いによる要因を検証した。さらに、親の大顎化が子の世代へと伝わる要因についても検証した。

血縁関係（同じ卵のうからふ化した兄弟）および体サイズが異なる幼生間の共食い状況の比較を行った。また、これらの実験後に生き残った幼生が大顎化しているかを確認した。さらに、生息環境の比較と実験の結果を照合した。

## 結果・考察

血縁関係による共食い状況の比較の結果、大顎化個体は、兄弟水槽の35%、非兄弟水槽の78%で確認された。共食いによる個体減少数は非兄弟水槽の方が多かった。また、体サイズが異なる幼生間の共食い状況の比較の結果、発生段階を揃えた水槽では、大顎化は確認されなかったが、発生段階が異なる水槽の33%で大顎化が見られた。共食いによる減少数は発生段階を揃えた水槽と異なる水槽で差が見られた。

これらの結果からクロサンショウウオ幼生は血縁関係と相手の大きさを判断し、共食いを行っていると考えられる。一方、生息環境と実験下での大顎化発現の関連性は、本実験では不鮮明な結果となった。今後は環境調査の精査及び方法の改善、遺伝解析手法の改善を行う必要がある。



# 只見町における野生植物資源利用に関する 地域知の若年層による保有状況調査

東京学芸大学 小柳 知代さん

## 調査の目的・方法

農山村における地域独自の生物文化多様性は、地域の伝統的な生活、文化、自然と深く結びついた地域知を基盤として成立している。地域知の消失は、生物文化多様性の消失に直結するが、地域知を活用して生活してきた世代が高齢になるにつれて、その消失速度が一層加速しつつあることが指摘されている。本研究では、昨年度只見町で実施した年長者からの聞き取り調査に基づく野生生物資源利用に関する知見を踏まえ、地域知の消失実態を明らかにすることを目的とする。特に若年層に焦点を当て、地域知の継承に向けた課題を検証する。

只見町内の小学校3校の児童とその家族、および教職員の方々を対象としたアンケート調査を実施した。山菜と木の実合計61種について、それぞれの写真と利用法をまとめたミニ図鑑とアンケート票を配布し、各植物に関する知識と経験を回答してもらった。

## 結果・考察

資源植物に関する児童の知識の保有数は、家族と比較して低かったものの教職員と差は無かった。一方、児童の経験の保有数は家族だけでなく教職員よりも低かった。児童の知識保有数は、摂食頻度と正の関係性を示した。家族や教職員については、子どもの頃や現在の採集頻度が高いほど知識保有数も多い傾向があった。山菜や木の実についての知識欲は、児童とその家族、および教職員のいずれも高かった。一方、授業に取り入れたいと思う教職員の割合は知識欲を持つ割合よりも低かった。この理由として、野外活動の安全管理や、収穫可能な時期に変動があり年間計画が立てにくいこと、只見町出身の教員が少なく教員のみで授業を担うことが困難なこと等が考えられる。

これらの結果から、家庭での摂食頻度を高めていく工夫や、学校における地域資源を扱った学習プログラム開発のための研究を継続していく必要がある。

# 只見の古民家は何の木でつくられているのか ～その伝統知の解明と継承

信州大学教育学部 井田 秀行さん



## 調査の目的・方法

只見町の古民家に使われている樹種や木材供給地の管理などといった民家普請に関わる伝統的な知識（伝統知）について、古民家実測調査・聞き取り調査・植物群落調査によって明らかにすることが本研究の目的である。これまで発表者は民家普請に関わる伝統知の保存と活用を図る上で必要となる情報基盤を整えるため、古民家の実態調査を実施してきた。その継続研究課題として今回は、さらに新たな成果を加えて従来の結果を捕捉し、只見地域の伝統知をより体系的に示す。

七十苧地区と下村地区の古民家2棟の実測調査と構成部材の樹種の同定を行った。また、古民家5棟と寺1棟についての聞き取り調査を実施した。さらに、かつて用材が切り出されていたと考えられるキタゴヨウ林の樹木の組成とサイズ構成を調べ、下層の出現植物種を記録した。

## 結果・考察

七十苧の家は、スギが構造の主体を成し、キタゴヨウは特に太い柱や梁に使われていた。聞き取り調査から得られた民家の使用樹種は9種であり、モトヤマと呼ばれる職人により適材が選ばれていた。調査地区のキタゴヨウ林のキタゴヨウは、中径木が最多を示し、大径木は少なかった。林床のキタゴヨウの稚樹・実生は半数以上の調査プロットで複数個体が認められた。

今回までの調査から、只見町の古民家の特徴は以下3点に総括される。①スギとキタゴヨウが主に使われていた。②モトヤマによって適材が選択されていた。③キタゴヨウ林では大径木の適度な利用間伐によって後継樹の更新が促進され、このことがキタゴヨウの持続利用を可能にしていた。



# 衛星リモートセンシングとAIによる 自然首都・只見町の生態系マップ作成

東京情報大学総合情報学部 原 慶太郎さん

## 調査の目的・方法

近年、植生図の作成手法として、衛星リモートセンシング技術とAIの一つである機械学習技術の適用が進められている。衛星リモートセンシングとは、人工衛星によって対象物の反射光の特徴を観測する技術の総称であり、観測した反射光の特徴を解析することで、対象を識別することができる。また、複数時期のデータを取得することで、植生の季節変化を捉えることも可能となる。一方で、解析すべきデータが膨大になることから、的確に処理するために機械学習技術が有効である。本研究では、これらの技術を用いて、只見町における最新の植生分布現況を表す植生図の作成を試みた。

只見ユネスコエコパーク域内とその周辺域を対象とし、以下の手順で植生図の作成を進めた。まず、欧州宇宙機関が運用する地球観測衛星によって取得された衛星画像を収集・整備した。次に、現地調査および空中写真を用い、真値（どこに何の植生が存在しているかを示す情報）を整備した。最後に、機械学習技術の応用手法の一つである、多重分類器システムを用いて植生図を作成した。

## 結果・考察

衛星リモートセンシングとAIを用いて作成した現況植生図は、現地調査や環境省植生図と比較して、現在の植生分布を的確に表現できていることが明らかとなった。現況植生図を活用することで、将来に亘って良好な自然環境の維持・管理に貢献することができると考えられる。

本研究では、只見ユネスコエコパークとその周辺域の現況植生図を試行的に作成することができた。一方、この植生図の精度向上や検証のために、より詳細な現地検証が望まれる。今後、現地検証と手法の改良によって、よりの確な現況植生図の作成が期待できる。

教育行政に尽力された3年間  
渡部教育長が退任



▲退任の挨拶をされた渡部早苗教育長

任期満了を迎えた渡部早苗教育長の退任式が3月31日に行われました。渡部教育長は、平成30年4月1日から3年間にわたって教育行政を担ってきました。これまで、ESD教育の充実発展や只見高校の魅力化向上などに取り組まれました。渡部教育長は、「これまで多くの方を支えていただきありがとうございます。充実したやりがいのある3年間でした」と退任の挨拶をされました。

新たなスタート  
副町長に新國元久氏、  
教育長に渡部公三氏が着任



▲着任の挨拶を述べた新國副町長(右)、渡部教育長(左)

新國元久副町長、渡部公三教育長の着任式が4月1日に行われました。着任の挨拶では、新國副町長から「福祉、生活の向上のため、微力ながら全力で取り組みたい」と述べられ、続けて渡部公三教育長から「前教育長の後を引き継いで、地域を支える人材の育成・確保に尽力したい」と述べられました。

装い新たに  
只見町観光パンフレットが  
リニューアル



▲新しいパンフレットは、只見町観光まちづくり協会でも配布しています。

自然首都・只見誘客推進事業実行委員会で作成している只見町観光パンフレットがリニューアルされ、4月1日より宿泊施設や観光施設などでの配布が始まりました。町の情報を「体験」や「歴史」などのジャンルごとに紹介するほか「おすすめ周遊プラン」が掲載され、より分かりやすく、見やすくなりました。只見町を紹介する際に、ぜひご利用ください。

豊かな自然への理解を深める  
第3期只見町公認  
自然ガイドに16人が認定

**第3期只見町公認自然ガイド**

長谷部忠夫さん	目黒 信さん
渡部 和子さん	高原 朗さん
角田 誠さん	山岸 国夫さん
齋藤 政信さん	星 美弥子さん
大宮みゆきさん	佐藤 弘さん
大宮 明さん	鈴木サナエさん
目黒 良樹さん	三瓶こずえさん
古川 勝久さん	石川 貴大さん

ガイドの依頼については、只見町観光まちづくり協会 ☎(82)5250 へお問い合わせください。

第3期只見町公認自然ガイドの認定審査会が行われ、16人が認定されました。認定のための講習は、第2期認定者の更新講習として昨年10月から、計6回行われました。只見町公認自然ガイドとは、エコツアーリズム推進のために、町が育成講習を行い、要件を満たした人をガイドとして認定しているものです。認定されたガイドは、知識や経験を活かして、来訪者へ只見町の魅力を発信します。

# 闘い続ける球児たち

只見高校1年生（※発表当時）

やまうち ゆうと  
山内 友斗



私たちは、今、ウイルスと常に戦っています。全国の野球部はもちろん、只見高校野球部にも試練が与えられました。最大の目標であった甲子園は中止になり、自分たちの実力を試す交流試合でさえもできなくなっていました。野球部の一員としてやっと練習ができるややる気でも満ちている時に、そうした状況になっ

てしまいました、とてもショックでした。しかし、それ以上につらかったのは、3年生の先輩方だと思っています。ここで、3年生の先輩を代表して主将を務めていた山口裕太さんからメッセージを頂きました。代読します。

先輩方は、私たち1年生が入部してから、熱心な姿、手本となる姿を常に見せてくれていました。技術もまだまだな私たちに、優しく、時には厳しく教えていただきました。なぜこんな目に遭ってしまったのかと、悔やんでも悔やみきれません。また、高校の探究活動でお世話になっていての新國真也さんからもメッセージを頂きました。

「昨年は、コロナウイルスの影響でなかなかチームがまとまらず、思うような練習が出来ませんでした。そんな中でもチームを信じていた結果、一人一人がしっかりと自主練習をしていました。最後は、思うような結果が出せなかったけれど、みんなの成長というものは感じられました。コロナウイルスの影響で全国の大会がなくなり、辛い思いをしている人がたくさんいて心が痛かったです。早くコロナウイルスがなくなっ

て欲しいと心から思っています。私たちにできることは、スポーツを通じてたくさんの方々に元気と勇気を与えることだと日々思いながら部活動に励んでいました」

「コロナウイルスによる大きな影響は特にありませんでしたが、野外作業なので、保育所、小学校、高校などの学校行事や練習の賑わいが例年より少なく、寂しい年でした。いかに地域に元気な子供たちの声が響き渡るかで、我々の頑張り度も上がる事を実感しました」

私は、先ほどのようにスポーツは地域の方々に元気と勇気を与えられるのだと確信でき、嬉しく思いました。さらに頑張ろうという気持ちでいっぱいになりました。

国や町はさまざまな対策をしています。マスクの着用、三密回避に留まらず最近では、再び緊急事態宣言が発令されました。県内でも学校行事一時停止の通知がありました。不安なことばかりではありません。手洗い、うがいやマスク着用、消毒の徹底など、どんな小さなことでも、一人ひとりが徹底すれば、それは大



## はらぺこ保育

只見高校2年生（※発表当時）

ぬま た さ き  
沼田 彩希



私の夢は、保育士になることです。保育士に憧れ始めたのは、小学2年生の頃でした。当時、ピアノを習っていたのですが、音楽に触れている時間が好きでした。家族の前で演奏した時、楽しそうに聴いてくれる姿を見て嬉しかったことを今でも覚えています。また、私は絵を描くことも好きでした。二つの好きなことを活かせる職業に就きたいと思ったのです。母が保育士だったこともあり、小さい私の中では保育士になることが自然と目標になっていました。高校2年生になった今は、特にハンドイクリップを持った子供たちの保育ができるような保育士になりたいと考えてるようになりました。

しかし、私は保育の現状や課題についてよく知らないことに気がつきました。「善は急げ」と思い立ち、私はウェブサイトを利用して詳しく調べてみることにしました。

この場を借りて現状と課題を2つご紹介します。突然ですが、皆さんは昨年度生まれた赤ちゃんの人数をご存知ですか。正解は86万5,234人です。これは1899年の統計開始以降、過去最低の人数だといえます。第2次ベビーブームが起こった1973年の209万1,983人から、なんと120万人以上も減っているのです。少子化の背景の1つ

としては、未婚化や晩婚化が挙げられます。社会の価値観の変化の影響が大きいのではないかと考えました。以前は、結婚して子供を育てることが社会人としての大切な要素でしたが、今はそれも選択肢の1つとして捉えられるようになってきました。私はこの変化が悪いものであったとは思えません。女性の社会進出や将来の選択肢が広がる重要な柱の1つになったと考えるからです。

未婚化や晩婚化が良い変化だとすると、少子化を引き起こす他の原因は何なのでしょう。私は、ずばりお金だと考えました。内閣府のウェブサイトには、「20代や30代の若い世代が子供を持たない最大の理由が、子育て教育にお金がかかりすぎるから」という主旨の記載がありました。私は、自由な時間の確保や仕事を続けたいといった心理的な理由の方が多いと思っていたので驚きました。実際に対策も講じられています。3年前の10月から「幼児教育・保育の無償化」が実施されているのです。無償化になったことで金銭面の問題は良い方向に向かっていくのではないかと思います。

第2に、保育士の減少による待機児童数の増加です。いくら他の問題が解決されても、保育士や保育園の数が減少すれば、子供が保育園や保

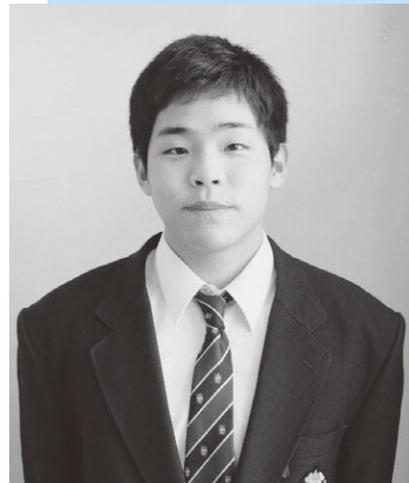
育所に入ることはできません。これでは仕事と育児の両立も不可能です。そもそも、保育士の減少の背景には待遇問題があります。例えば給与と業務量が見合っていないかったり、希望の時間に勤務することが難しいという問題が挙げられます。しかし、このままでは保育士も仕事と育児の両立が難しくなり、離職する方も増えてしまいます。つまり保育士の待遇改善が実現することが少子化を止める大きな一歩なのです。

最後になりますが、「無知の知」という言葉があります。今回、保育の現状や課題について調べることによって、自分の思い描いていた「保育士」という職業は輝かしい面だけではないことを知りました。それでも私は夢を諦めることはできません。「はらぺこ保育」というタイトルにもあったように、今の保育には誰しも「何か足りない」と感じるような点が多くあります。その何かを今回の主張大会を通じて、少し掴むことができたように思います。この少しの知識を得られたことが、自分の夢を叶えるための大きな一歩になりました。これからは専門的な知識が身に付く大学に進学し、内側から保育に関わっていけるように励んでいきたいです。

# わたしの目標 ～生徒のために～

只見高校2年生（※発表当時）

こすげ たけと  
小菅 岳人



あまりにも唐突かもしれませんが、私たち高校生にとって、学校生活とトイレとは切り離せないものなのです。この場をお借りしてお話しさせていただきます。

まず、排便をしたい時、私たちはどこに向かうでしょうか。トイレです。そして、出来れば快便をしたいと思っ

ているはずですが、しかし、そのトイレが汚い、臭い、まして排便しにくい造りになっていたらどうでしょうか。快便出来るでしょうか。できません。私がここまで排便にこだわる理由は、それが健康であるかのものさしになるからです。例えば、便秘は腹痛や食欲低下を招き、栄養の吸収を妨げ、さまざまな機能に影響を及ぼします。心筋梗塞や脳卒中、寝たきりなどのリスクを高め、寿命も縮めてしまうことが明らかになってい

ます。安心して排便できる環境を作ることが、私たちの健康を保つ要素になるのです。「病は気から」とも言いますが、心の健康は腸から、腸の健康は心からだと思

います。私たちは、健康でいるからこそ毎日前向きに登校ができ、様々な授業を受けることが出来るのです。では、一体どのような環境を整えられるのでしょうか。まず、トイレを直さなければいけません。具体的には、洋式トイレを増やすべきだと考えます。文部科学省の調べによると、公立高校の洋式化率は43・1パーセントでした。そして、只見高校では約16パーセントだと分かりました。つまり、自宅では洋式トイレ、学校では和式トイレといったギャップを改善する必要がありますと言えます。洋式を増やすことによつて、トイレに行きやすくなります。

しかし、ここで全てのトイレを洋式にするのは良くありません。実際には、和式トイレのメリットもあります。例えば、排便の時間が短い、排泄物を目視でき、自身の健康状態を把握しやすい、そして、直接便器に触れないなどが挙げられます。

私は、トイレが皆さんの健康に関わる極めて重要なものと伝えたいのです。この主張で実現できるかどうかは分かりませんが、強い思いのもと、お時間をいただきました。皆さんはどのような考えをお持ちでしょうか。ご清聴ありがとうございました。



3カ月にわたり、青少年主張大会の原稿を掲載いたしました。

2月号では、町内3小学校6年生がクラスメイトとの成長や只見町の守りたいものや将来の夢について伝えてくれました。

3月号では、日本のSDGsの最先端に行く只見中学校の生徒が海洋教育を通して学んだことを基に自分達でもできることややらなければならないことについて主張しました。

最終回の今月は只見高校生3人の主張をお伝えしました。

日ごろの生活から感じたことや勉強で学んだことなど等身大のテーマで発表してくれた9人に心を揺さぶられた方も少なくないのではないのでしょうか。

発表してくれた9人は、ぜひこれからも熱い気持ちを胸に持ち続けてください。

わなげ、射的、ビンゴ大会、沢山楽しみました

## 子ども教室「おたのしみ会」が開催

只見振興センターの放課後子ども教室で「おたのしみ会」が3月5日に開かれました。子どもたちは、「わなげ」や「射的」といった縁日のような遊びを楽しみました。「射的」は、打ち落とした手編みの工芸品や折り紙が貰えることもあり、欲しいものを狙って、とても白熱していました。

子どもたちは、「わなげの輪っかがはねるから難しかった」、「一発で欲しかったものが取れた」と笑顔で話してくれました。

最後にはビンゴ大会が行われ、友達との楽しい時間を過ごしました。



▲射的を楽しむ子どもたち

もっと便利に使いこなすために

## スマホ・タブレット講座開催



▲パソコンでの操作も体験することが出来ました。

朝日振興センターで、鈴木久美さん（布沢）を講師に招き、冬期講座「スマートフォン・タブレット講座」が3月1日から8日まで開講されました。

講座では、ネットショッピングができるようになることを目標に、スマートフォンの基本操作やアプリケーションのダウンロードの仕方などに挑戦しました。

参加者は、「元々使ってはいたが、今回の講座で更に細かい使い方が分かり楽しかったです」と感想を話してくれました。

長年の功績が称えられました

## 横山至伯さんが旭日単光章を受章

元只見町議会議員の横山至伯さん（楢戸）が、高齢者叙勲（旭日単光章）を受章され、3月16日に伝達式が行われました。

横山さんは、只見町議会議員を平成4年4月20日から平成16年4月19日までの3期12年にわたり務め上げ、地方自治の発展に尽力されました。

今回の受章については、「このような素晴らしいものを受章することができ、とても嬉しく思います」と受章の喜びを話してくれました。



▲受章された横山至伯さん(中)と  
金子南会津地方振興局長(右)、渡部町長(左)

## 江戸時代のそばを復活させる

# 「只見天領そば」の商品化を目指す

「只見天領そば」の試し打ちが3月15日に只見そば部会の赤塚房子さん、吉津幸子さんによって行われました。

赤塚さんは、「見た目は、只見の在来そばよりも粉が黒いように見えます。打った感じは、粘りがあり、まとまりやすく、打ちやすい。品がいいそばだと思えます。」と話してくれました。

また、「只見天領そば」を試食した方々の感想によると、

「そばの香りが強い、水そばでも美味しい、食後も口の中にそばの香りが残る」とのことで、香りについての感想が多くありました。

今後、只見そば部会や地元農家の方と協力しながら、在来そばと比較する試食会などを行い、「只見天領そば」としてブランド化を進めていきます。



▲「只見天領そば」の試し打ちの様子。水分量や工程は、在来そばを打つのと変わらずに打てるということです。

## 「只見天領そば」とは

今から25年ほど前、川俣町の加藤さんが只見町で解体をしていた古民家の母屋の天井裏から麻袋に入った“そばの実”を偶然見つけました。発見場所や保存状態から古くは江戸時代あたりのそばの実ではないかと思い実際に栽培をしたところ、赤色（ピンク）の花を咲かせたことから、原種に近いそばの実であることが推測されました。

その後、このそばの実は川俣町や山形県などで栽培され、川俣町で「まぼろしの蕎麦」として提供されていました。しかし、川俣町では東日本大震災、山形では豪雨災害を受け、このそばの作付けが出来なくなったことから、加藤さんはこの“そばの実”を守ってくれる人を募集し、2014年に只見町で譲り受けることとなりました。この募集によって他に広島県神石高原町にも伝わり、そこでは「天空のそば」として現在も大切に育てられ地元で提供されています。

実際に栽培を始めると交雑を避けるため離れたところで作付けしなければならないことや、悪天候などで思うような収量が確保できない状態が続いていましたが、地元農家の地道な努力が実り、2019年に安定的な収量を確保できることとなりました。

そこで、只見町へ帰ってきたこのそばを、解体された古民家が建てられた時代背景を反映して「只見天領そば」と命名し、本格的に商品化とブランド化を目指すこととなりました。

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
医師 もり ぶゆと  
森 冬人



### 「医療・福祉に関心がある次世代へ」

新型コロナの流行から1年以上になりました。世界中で活躍する医療・福祉関係者を見て、医療・福祉の仕事に関心がある小中高生、両親・祖父母の方も多いことでしょう。

医療・福祉の仕事も色々あります。今年4月には福島医大保健科学部が開設され、県内で学べる分野・専門職も増えました。近年、医療・福祉の大学・専門学校では地域で多職種連携を学ぶ事が重要視されています。高齢化のため慢性の病気や障害を持つ人が増えており、医師・訪問看護師・保健師・薬剤師・リハビリ専門職・介護施設などが協力して、様々な病気・障害を持った人を地域で支援できるように学生時代から学ぶ事が求められています。医学部で言えば、私の学生時代、地域の診療所の現場実習はたった2日間が義務でした。今は最低1週間。今後は1ヶ月以上と、医学生もこれまでより地域の診療所で勉強する事が最新のトレンドです。

医療職も2つの専門家が必要です。高度な医療に特化した専門家と、地域で包括的な医療を提供する専門家です。

まず大病院で高度な医療に専念する人。例えば心臓手術をする外科医、ドクターヘリに乗る看護師、人工心肺装置を動かす臨床工学技師などです。特別な医療に特化した技術が求められます。

もう1つは、小病院・診療所・施設・役場で住民に身近な医療を包括的に提供する専門家。私のような総合診療医・家庭医の専門医、訪問看護師、役場の保健師、施設のリハビリ専門職（理学療法士・作業療法士）などです。幅広い技術や知識が求められ、よりコミュニケーションスキルの学習が必要です。病気を治すだけでなく、健康増進・予防、病気を持つ人への生活支援やリハビリ、癌患者への在宅ケア・緩和ケアを学ぶ事も重要です。

2つの専門性のある医療職が協力して良い医療が成立します。次世代を担う皆さんは色々な仕事を調べてみてはどうでしょうか。コロナが落ち着けば、診療所や町役場で受け入れる医学生・看護学生の実習は更に増える時代になりそうです。私も福島医大の非常勤講師として次世代の医療・福祉職の育成に貢献します！

## 地域おこし協力隊として Vol.76

移住コーディネーター  
なまため ひろし  
生天目 博



### 「移住コーディネーターの実感と予測」

国内屈指の豪雪地帯である只見町、雪が融け田植えの始まる5月から初雪が降る12月まで自然豊かな環境で暮らし、冬は都市部へ戻るライフスタイルなら、両地域のメリットをフルに享受できる。これが二地域居住という考え方。只見町に暮らす時間がたとえ3日であろうと半年であろうと、二地域居住がもっと気軽に安易にできれば、人はやって来る。これは移住コーディネーターの実感。

コロナ禍でデジタル技術を駆使したテレワークが普及し、一定期間地方で暮らす二地域居住をより身近にしたのは間違いない。まさに50年かかると言われた社会変化が、ここ数年で起きた。だが実際に二地域居住を始めようとすれば「どこで?」、「費用は?」、「何から始める?」と言った課題を解決しなければならない。実は、これが障

害となって身近なレジャーや国内外旅行へ流れたのではないかと感じていた。ところが新型コロナウイルスの蔓延をきっかけに、いま多くの人々が「本当に価値あるライフスタイル」、「人生を豊かにすること」とは何かを探り始めている。

二地域居住はテイクオフ期に入った。まさに飛行機が地上を離れ、上昇態勢を取るかのようだ。大胆に予測してみたい。近い未来、二地域居住を考える人たちが気軽に安価で二地域居住できる施設や制度を整える組織、地域が現れる。必要な情報がすぐに手に入り、手続きはダイアログボックスとわずかなクリックだけで完了する世界になる。

人の不便を解決することがビジネス(社会利益)につながる、自分はそう考えている。

しぜんしゅと・只見

# ファッションコレクション開催!

町内小中学生の角田<sup>あん</sup>杏さん、角田<sup>はる</sup>春さん、酒井<sup>たける</sup>健生さん、酒井<sup>ゆうじ</sup>湧司さんが、考えたイベント「しぜんしゅと・只見 ファッションコレクション」が3月21日に開催されました。このイベントは、株式会社バンダイナムコエンターテインメントの地域協働プロジェクト「地元アソビづくり隊!」で、地元を今よりも楽しい遊び場にする案を全国の小学生から募集したものです。第1回の募集で、4人が応募した企画が「優秀賞」となり実現されました。



子どもたちは、福島県出身のファッションモデル・愛花<sup>えりか</sup>さんからランウェイの歩き方を教わり、タレントのぺえさんと国指定重要有形民俗文化財の「只見の仕事着コレクション」を使用した衣装を共同制作しました。当日はランウェイに見立てたJR只見線の車両の中を、杏さんと春さんがファッションモデルと共に歩き、健生さんと湧司さんがカメラマンを務めました。

杏さんは今回のイベントについて、「地元アソビづくり隊の話を聞き、ファッションイベントを通して、只見の良さを伝えたいと思ったのがキッカケです。只見町にはステキな仕事着があるということ、只見線の車両でこんなイベントができるということ伝えることが出来たと思います。」と話してくれました。



ファッションコレクションの様子はこちらから





# 町民文芸

## 只見短歌会 令和三年三月詠草

飢餓の子の骨ばかりなる痛ましき泣く力さえ無くて佇む  
馬場 八智

ブルトージャー入りて通路の雪の壁三メートル越ゆ春の陽迎ふ  
関谷登美子

雪嵩ゆきかさが除よけてくるるか隙間風入らぬ窓辺さくら草咲く  
目黒 富子

戦争と勤勞奉仕の国民学校出て来たわれら「米寿」の祝ひぞ  
渡部ゆき子

連日の雪に慣れぬし我が仔猫雪の落つるを窓際で見つ  
新国由紀子

受付は早く終われど診察に待つ時間の長く眠りを誘ふ  
渡部ヨリ子

こぼし苑入所の人等それぞれに無理せず朝の体操をする  
新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会 三月定例会

宇多喜代子 指導

まだまだと若木のごとく杏子咲く  
青い目の人形語る春日和  
信

伊南川や明かるく見えて冴返る  
かくれんぼいつも鬼なり春の風  
都

ほっこりと障子ごしの灯母の影  
外套や父の背中の広かりき  
味代子

コロナ禍が普通を奪う老いの冬  
山里に小さき白波雪解川  
弘子

細き身に羽震わせる春の蠅  
粗目雪足跡追って吟行す  
真理子

さくらもち味をかみしめ心豊かに  
朝霧やすずめの群が窓をうつ  
睦子

暮れかぬる大根にゆうのくずれかな  
只見川に入る伊南川の雪解ぶり  
礼

健康器クルミの手遊び春待つ日  
まだ雪の残る畑隅ヒヤシンス  
一穂

日捲りをめくる贅沢深雪晴  
ほっこりとホテルの明かり冬木立  
修一

漣を起こして蝌蚪の群れ朗ら  
コロナ禍の冬愚痴一つ芋刺しに  
幸生

# 今月のお知らせ

## 人事

町職員の退職及び  
新規職員のお知らせ

●退職など（3月31日付）

《退職》  
町政に尽力された次の方々  
が令和3年3月31日付で退職  
されました。

▽総務課

参事(兼)課長

新國 元久

▽農林建設課

参事(兼)課長

渡部 公三

▽朝日診療所

看護師長

五十嵐千恵子

▽教育委員会

主査 渡部 圭

●新規職員（4月1日付）

次の方々を新たに迎え、令  
和3年度がスタートします。

▽教育委員会

学校教育係  
横田 尚也

▽朝日診療所

看護師  
五十嵐真優

▽地域創生課

広報広聴係  
向坂 隼哉



## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## お知らせ

多重債務・貸金業に関する  
相談窓口のお知らせ

財務省福島事務所では、借  
金でお悩みの方々からの相談  
に応じています。借金の状況  
をお聞きし、必要に応じ弁護  
士・司法書士などの専門家に  
引継ぎを行います。相談は秘  
密厳守、無料です。お気軽に  
ご相談ください。

また、国や県の登録を受け  
ずに貸金業者の登録状況に関  
する問い合わせや不正に利用  
されている預貯金口座に関す  
る相談も受け付けています。

●相談窓口

福島市松木町13-2  
財務省福島財務事務所

理財課

●受付時間

月曜日から金曜日  
(祝日、年末年始を除く)  
8時30分から12時00分、  
13時00分から16時30分まで

●電話受付(相談窓口専用)

☎024-533-0064

## 交通事故相談窓口の お知らせ

県では、交通事故による損  
害賠償や示談の仕方などにつ  
いて相談を受け付けています。  
相談は秘密厳守で無料です。  
お気軽にご相談ください。

●相談窓口

福島市杉妻町2番16号  
福島県庁2階

☎024-521-4281

県政相談コーナー

●受付時間

月曜日から金曜日  
(祝日、年末年始を除く)  
9時から12時、  
13時から16時まで

## ご寄附

ご寄附いただきました

▽坂内 久泰 様 (只見)  
不織布マスク 3000枚  
▽本多 一恵 様 (只見)  
雪まつり用電気機器類

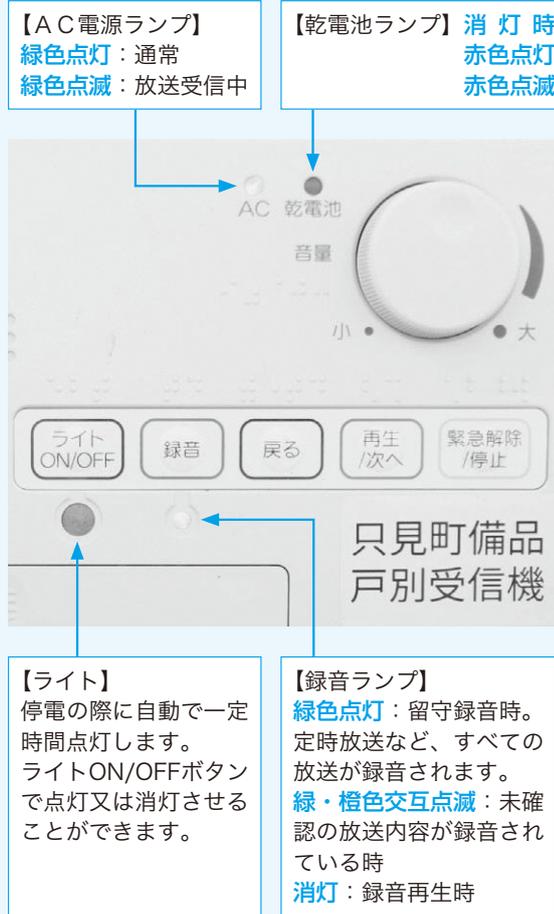
ご寄附いただきました誠に  
ありがとうございました。有  
効に活用させていただきます。

## 税 今月の納期

4月26日までに  
納めましょう  
●固定資産税(1期分)  
●農集排使用料(4月分)

# 改めて確認しよう！ 防災無線戸別受信機の使い方

防災無線戸別受信機は、放送が録音されるため、聞き逃した放送を聞くことができます。



## ●聞き逃した放送を聞く(録音ランプ点滅時)

### ▷再生するには

【再生/次へボタン】を押すと、新しい放送から順に連続再生します。各放送の再生時には「ピ」と音になります。

全ての放送の再生が終わると「プ」と音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

### ▷スキップするには

再生中に【再生/次へボタン】を押すと、次の放送にスキップします。

### ▷前の放送に戻る/放送の頭に戻るには

再生中の放送の冒頭(2秒以内)で【戻るボタン】を押すと、1つ前の放送に戻ります。前の放送がない場合は、再生中の放送を最初から再生します。

再生の途中で【戻るボタン】を押すと、再生中の放送の最初から再生します。

### ▷再生停止するには

再生中に【緊急解除/停止ボタン】を押すと、再生を停止して、待ち受け状態に戻ります。

ご不明な点は 町民生活課 82-5100 までご連絡ください。

## 町長スケジュール (3月分)

- 1日 県立只見高等学校卒業証書授与式、小学校在り方検討会報告
- 2日 只見町議会3月会議(～11日)
- 10日 道の駅検討委員会
- 12日 只見中学校卒業証書授与式
- 15日 長岡国道事務所長来庁
- 16日 高齢者叙勲(旭日単光章)伝達式、福島県知事との意見交換
- 17日 南会津警察署長異動挨拶
- 18日 ミニ雪像フォトコンテスト審査会
- 21日 只見線活性化シンポジウム(魚沼市)

- 23日 朝日小学校卒業証書授与式、南会津建設事務所長異動挨拶
- 24日 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主幹研究員・特任研究員来庁、福島県議会自民党政務調査会長来庁
- 25日 只見ユネスコエコパーク連絡調整会議、町小中学校教職員離任挨拶、道の駅検討委員会懇談会
- 26日 只見ユネスコエコパーク推進協議会
- 27日 東京2020オリンピック聖火リレー出発式(南会津町)
- 30日 只見町議会全員協議会
- 31日 町退職職員辞令交付式、教育長退任式及び職員離任式

# 町民の消息

(2月26日～3月25日届出分)敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

遠藤 太鳳 (女/拓人・彩) 小林  
 目黒 平 (男/翔太郎・由貴) 黒谷  
 山内 ももこ (女/隆行・あけみ) 大倉

## ■おくやみ申し上げます

山内 孝博 62 二軒在家  
 梁取 美津子 93 長浜  
 目黒 光夫 85 梁取  
 渡部 守夫 84 榎戸  
 橋川 サタイ 102 小林

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和3年3月1日現在

人 口 4,032 (-23)  
 男 1,974 (-14)  
 女 2,058 (-9)  
 世帯数 1,730 (-13)  
 高齢化率 46.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 1 転出 10 出生 1 死亡 15

▽ご卒業された皆さん、おめでとうございます。新たなステージは、不安も沢山あるかと思いますが、それぞれの夢のために頑張ってください。

▽広報ただみの担当になり、あっという間に1年が経ちました。コロナの影響で多くの行事が中止や規模縮小となった中でも、皆様からご協力をいただき、何とか1年間務め上げることが出来ました。本当にありがとうございます。

▽引き続きどうぞよろしくお願いたします。

(小林)

## あとがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

朝日振興センター  
 図書紹介  
 令和3年4月

朝日振興センター図書室  
 〒24-2111  
 山内 希実子

# おすすめ新着図書

## ★心淋し川



西條奈加/著(集英社)

不美人な妻ばかりを囲う六兵衛。その一人、先行きに不安を覚えていたりきは、六兵衛が持ち込んだ張形に、悪戯心から小刀で仏像を彫りだして…(「閨仏」)。飯屋を営む与吾蔵は、根津権現で小さな女の子の唄を耳にする。それは、かつて手酷く捨てた女が口にしていた珍しい唄だった。もしや己の子ではと声をかけるが—(「はじめましょ」)他、全六編。生きる喜びと哀しみが織りなす、渾身の時代小説。第164回直木賞受賞作品です!

## ★28文字の片づけ



yur.3/著(主婦の友社)

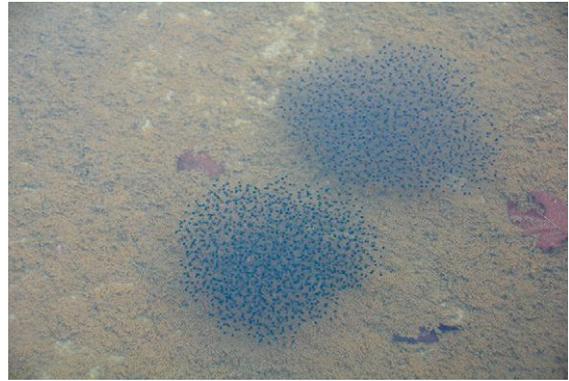
部屋にモノがあふれ、気持ちに余裕がなくなり、女子力も落ちている……というときに、グッと刺さる、行動に移したくなる yur.3 (ゆりさん)の格言。捨てられない、片づかない自分に別れを告げましょう。使っていない物を手放すだけで、どんどん運のいい人になれる! なりたい自分になれる!

○朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

## ヤマアカガエル (学名: *Rana ornativentris*) (文 吉岡義雄)



▲ 成体。森林内のやや薄暗い林床で見られる



▲ 卵塊。日当たりが良く、流れの無い浅い水中に産み付けられる。水田や湿地のほか、側溝でも見られる事がある

多くのカエルは春が訪れて冬眠から目覚めると、水辺に集まって繁殖を行います。只見町内でも5月頃になるとあちこちの水辺でカエルの鳴き声を聞くことができます。中には冬の寒さが残る4月に繁殖を始めるカエルもいます。それがこのヤマアカガエルです。繁殖を行う水温は約6℃と低く、関東の平地では2月から3月上旬、九州などの暖かい地域では1月に繁殖を始めます。このような季節は餌となる生き物が活動しておらず、カエルの活動にも適しません。そのため、繁殖を終えたヤマアカガエルは再び泥の中に潜り、暖かい季節がくるまで春眠します。

それにしても、何故わざわざ冬眠を中断してまで繁殖するのでしょうか？これは、ヤマアカガエルが属するアカガエルの仲間が低温に適応した北方系のカエルであるためと考えられています。特に卵は体温調節機能に乏しく、高い水温が苦手です。加えて、ヤマアカガエルが好んで産卵する水田は、気温や日射の影響で水温が変動しやすい環境です。そのため、卵が高温にさらされないよう、冬から早春の寒い季節に繁殖をする必要があるのです。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンター附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 企画展アーカイブ「只見の春植物とその生活史」

会 期：2021年4月3日(土)～2021年5月31日(月)  
場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー